

第35回有瀬図書館ギャラリー展

神戸学院大学有瀬図書館
展示会通信第38号
2016年1月14日発行

Meridian

英文学の系譜

～シェイクスピア
「ファースト・フォリオ」を中心に～



* 開催期間：2015.12.16(水)～2016.3.31(木)

* 開催場所：神戸学院大学有瀬図書館 本館2階エントランス展示コーナー

* 開催期間中、日曜・祝日は休館です。

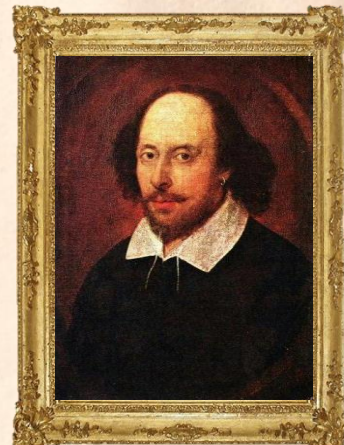
* 開催時間や開催期間は変更になることがあります。

図書館HP、掲示にてご確認のうえご来館ください。

第33回有瀬図書館ギャラリー展では、「英文学の系譜 ～シェイクスピア『ファースト・フォリオ』を中心に～」と題して、さまざまな作品を展示しています。普段は閉架資料として閲覧が制限されている貴重な資料も含まれています。この機会に、ぜひご覧ください。

ウィリアム・シェイクスピア

イギリスの劇作家・詩人。多くの戯曲、物語詩、ソネット（14行からなるヨーロッパ叙情詩の一形式）などの作品を生み出しました。中でも『ハムレット』『オセロー』『リア王』『マクベス』の四大悲劇や『ロミオとジュリエット』『ヴェニスの商人』などが有名です。言葉の豊かさ、性格描写の巧みさなどで英国ルネサンス文学の最高峰と称され、芝居は世界中の舞台や映画で上映されています。



ファースト・フォリオ

シェイクスピアの死後7年目（1623年）に戯曲をまとめて出版した最初の作品集。もともとの語源は「全紙に対して1度だけ折ったもの“フォリオ”の最初に刊行されたもの」という意味でしたが、一般に『ファーストフォリオ』というと、シェイクスピアの作品集を指しています。原題は『Mr. William Shakespeares Comedies, Histories & Tragedies』といい、シェイクスピアが書いた戯曲のうち、真作と思われるもの36編が収録されており、「お気に召すまま」や「マクベス」はこのファーストフォリオで初めて出版されました。今回の展示品は明星大学所蔵のファーストフォリオの復刻版です。この資料は、ほとんど全ページにわたり17世紀当時の書き込みが確認されており、当時の人々の日常生活を読み解く重要な文献にもなっています。



喜劇

笑いだけを追究したファルス（笑劇）から、魔術的、悲劇的なものまで多彩です。ほとんどは幸福な結末を迎えますが、終わり方は手ばなしで喜べるものでないことが多く、人生はそこからさらに先があり、人の「生」がいつまでも続いていくことを示しています。

『真夏の夜の夢』
『ヴェニスの商人』
『お気に召すまま』 他

歴史劇

それぞれの作品は国王の名前がタイトルになっていて、イングランドの歴史における激動の出来事を知ることができます。貴族達の野望や国王の没落などが芝居に仕立てられています。この歴史劇を書くことで、イングランドの過去が、偉大な演劇のテーマとして価値があることを証明しました。

『ヘンリー六世・第一部』
『リチャード三世』
『ジョン王』 他

悲劇

悲劇の中で、ロマンティックな恋愛への渴望や政治的権力への欲望など、人間を駆り立てる様々な力を取り上げました。また、悲劇の多くをキリスト教以前の時代に設定し、キリスト教的な救いの枠組みを取り除いたので、主人公は試練に関して簡単に答を得ることができません。

『ロミオとジュリエット』
『ハムレット』『オセロー』
『リア王』『マクベス』 他

ジェフリー・チョーサー

中世イギリスを代表する詩人のひとり。当時の高級官僚としてヨーロッパ全土をまわり、文化にふれることで見識を広げました。中世ヨーロッパのあらゆるジャンルを取り入れた文学『カンタベリー物語』（未完）を執筆しました。



ウィリアム・モリス

19世紀イギリスの詩人、デザイナー、思想家。近代デザイン史上に大きな影響を与えた人物です。手仕事による装飾美術を日常の中に活かす『アーツ・アンド・クラフツ運動』を提唱しました。彼のデザインは21世紀の現在でも色あせず、根強いファンに愛されています。



チョーサー著作集

「チョーサー著作集」はケルムスコット・プレスによって1896年に刊行されました。モリスはタイポグラフィー、装飾、紙や印刷に至るまで最も美しい本を作ることを切望し、本書を刊行しました。100年以上を経た今でもその美しさと力強さは衰えることはありません。印刷物を優れた芸術作品にまで高めた、ケルムスコット・プレスの最高傑作であり、世界三大美書のひとつとされています。



アーサー・ラッカム

イギリスの挿絵画家。ロンドンのランベス美術学校に学び、「ピーター・パン」や「不思議の国のアリス」の挿絵を発表。その幻想的筆致により20世紀初頭の挿絵の黄金時代を代表する画家となりました。



ボーモント、フレッチャー

フランシス・ボーモントとジョン・フレッチャーは共にイギリスの劇作家です。フレッチャーはシェイクスピア的な抒情性の強い作風の作品を、ボーモントはジョンソン風の作品を創作していました。単独作では失敗していた二人ですが、国王一座のために合作してからは一躍人気作家となりました。



展示の ようす



編集 後記

2016年はシェイクスピア没後400年にあたり、世界中でシェイクスピアに関するイベントが開催されています。有瀬図書館でも、シェイクスピアの戯曲を集めた作品集「ファースト・フォリオ」や、ラムの「シェイクスピア物語」の初版本など、大変貴重な資料を展示しています。この冬、シェイクスピア・英文学を堪能してみてはいかがでしょうか。

参考 文献

- ♪ デジタル版 集英社世界文学大事典
- ♪ シェイクスピアヴィジュアル事典
レスリー・ダントン=ダウナー、アラン・ライディング著、新樹社、2006年
- ♪ シェイクスピア百科図鑑 A.D.カズンズ監修、悠書館、2010年
- ♪ イミダス2015

書籍テーマ展示

新館2階書籍テーマ展示コーナーでは、「Shakespeare As You Like It」と題し、書籍だけでなく、映画・舞台のDVDも揃え、様々な角度からシェイクスピアを楽しめる資料を展示しています。こちらの資料は貸出可能となっておりますので、あわせてお楽しみください。



神戸学院大学図書館 展示会通信 MERIDIAN 第38号

2016年1月14日発行

発行・編集：神戸学院大学 有瀬図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518

TEL：078(974)4584 E-mail: pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp

ホームページURL: <http://opac.kobegakuin.ac.jp/>